

Fusyo Collaboration letter



5月 31日 No.9 文責 廣田 秀俊

授業公開 体育 5年生の教室から

二人組でボールを用意し、素速くコートに広がっていきます。5年生の体育の時間が始まり
ました。ワンバウンドパスからノーバウンドパスへ。ソフトバレーボールを使って体を動かして
いきます。「コートにはボール一つにしよう」と先生からの合図があると、子どもたちもチーム
ごとに声をかけあい、隊形を整えていきました。「三角形つくるぞ!」「まずサーブ」「キャッチ!」
「うまい」。言葉もボールもしっかりとつないでいます。

チームごとに整列し、この日のめあてを確認。『チームごとにパスをつなぐ工夫を
考えよう』です。今日のキーワードは“つなぐ”。“みんなで”“チームで”“相手も”。
これまでの時間に積み重ねてきたルールを活用し実践していきます。

前時までにはうまくいったことを出し合ってみました。1つ目は“キャッチしたり、ワンバウンド
させたりする方法を使うこと”です。高く上がるボールや速く飛んできたボールへの反応や相
手チームとも続けていくために有効な手段です。2つ目は“声を出すこと”。ボールを打つとき
に相手に伝えたり、名前を呼んだりすることでボールを返していくことができてきました。

加えて、これまでに撮影した動画を観て、自分たちのよさを再発見していき
ました。「ボールをよく見ている」「相手がパスしやすいように動いている」。自分
たちの姿を確認し、今日のめあてをチームごとに立てていきました。

“ボールにつられない” “名前を呼び自分から積極的に行く”

“友だちの名前を呼んでボールをつなごう”

“なるべくノーバウンドでコートを広く使い名前を
呼び合って、相手を取りやすいボールにしよう”

“チームで協力し合ってつなぎ合おう” など。

みんなで決めたルールを確かめ、それぞれの色別のチームに分かれボールをつないでいく実
践を再開しました。ボールをおいかけ、声をかけあい、必死にボールをつなげています。何度も
やっていくうちに、それぞれのチームで工夫が見られてきました。

「ノーバウンドは難しい。キャッチにしよう」「三角形になってから始めよう」。声をつないで、
もう一度サーブから始めていきます。「うまい!」「ワンバンで!」「キャッチできるよ」「おいしい!」

最後の振り返りの場面でも上手くできたところを全員で伝え合うことができてきました。次の時
間も相手チームをよく見ていいところを取り入れ、得点をつけるゲームへとつなげていきます。

